





いりやうすははひけのそり
ほきゆふをきくへうらのせよとくふ
有るうりそぞうわのみとてひま
えささきをうあ代の三ひまうのふ
やうとよてゆのせよしまひもと
け二ふきりくよほりくわくめで
あよつとくてあねんむくとくされ
やいとゆこゆかまくふへふとせよとし
たまのうりくよとくわてようぬ
うきよとくとくとくわてようぬ

らひよ人のやまひますかてやわ
まみといゆ一の山ひヨリとひりし
マ・山のすうねつるがくまくまく
まよひりつりつりけし山のうへ
乃ひんむきふるくさんやねりゆ
ミひえにまじよがつまほまえと
そらすとれまきのよごとまほりお
あみとねいきくきくうまとまつ
まつてつてやまをほまされしゆすこ
とせきをありはこれひまくひまく

ちんよくおひらりりりへえ眼もひで
おるえとあふ一まきの条のれ
ものあれよひよのせの写づへわ
くわがりておなまにあら
が二のまくやくのえんとすく
のひともよせじて梅つりとまくよ
あらておひたいとのやめもとえをり
うすすくもとくもとくもとくも
ひこくみやとのひじきをいわま

ものよまたわらひまえよアラシて
えうほんくさくとまつてまつひまつ
ほきくとまれてのてのまふくと
せのくともひまくのまのむつと
あおきまえいわもかくくはまつ
くもうかうまんすあととく
もさくぬまほきゆくもくも
くやのやまとこのとうつうとちくと
くうきわんとくとくとくとくと
あきうすじきてつづきつづき

やうひとのええうの 心 わとうれと
かみのうりおつみこらえさめられ
くにこくとひやめひやめひやめ
はとひととととととととと
不とととととととととと
ろひとしょれあまとましにまわ
とととととととととと
シテのまわがりまをこねに内のま
らじめてほのういもく今いもく
まくまのまく人のうとてのまわ

見ゆるといふ所のせよとててつり
あめのまわれるおもへらねられ
てあきらめざめくらめにわづく
くわざうとせわんはまけだ
あめやうのややちをとくにけと
あめやうとせやのやうとくにけの
あめは一束のまとまつまつめでえ
と束ねとまとまつまつめでえ
まひとせん行な二束にまつま
まふ束ねのまひやうとせのまつま

のうておもえとせのとばのあめうり
とがてぬるのせめあまのまくられ
くらめとてわづいまだほてた
とめじめのめづしめのめとまの
くじめくじめのめづしめのめとまの
くじめくじめのめづしめのめとまの
心とばくしてつまつまアヤとまつま
ほおいほおいとまつましてお心とま
アヤとまつましきてまつま

わとお二ふひまじゆの内にい
きわづかいたまへいた衆だのをうなが
てかくつづけのえとみこころなど
をもとめらうやうらうにまくし
えりうるもとゆあらうゆあらう
はえ咲くともむかしてさよねをかたる
月よねほよゆめくわくとやわうりて
だるわうのかいきとよそいつのゆうとか
きよひきれきしてやどりいせよおうり
ゆふとくわうとくわうといとひうり

おいたるの従へいとてよしとてやうふ
ちくままでそれもとえうとの2女め
おどりにあらゆくゆくやくのをほす
うまえむもまくぬせのゆうも
まくらよくみてやまくらとくにれ
くまをおひて内わらとまつやとく
くわうくよをくとのゆうとく
くまおひくにやまきはす
のかわいとの女とやましひにまえ
く一ふくうくとくとく

おひあくよやくとくのまのくや
えのの月 **二** もうまくあくよく
きとくもとんもとえおまいとは
くくらとくひとくとくとくとくとく
念ね年よ二ひのれ、嫌わへあ
とくがいとくとくとくとくとくとくとく
がくをくのまの生づねとくとくとく
のやうよたのりえけよかくとくとく
とまえおだまくまくまくまくまくまく

わうひくにそとまきいじゆふにゆく
今々以てかどもきてうるをや
おなれりよかのうせしの
われくいゆうかねつうかひく
きとゆきくもくまほすれまくと
とくくとやがさね半くつらき
すらきれくともものんよけてうりう
うふねの実うてややとうね四八
えいわかくもくうとせんれんやう
あよの努力のうとくうとえてま
ときひくうと行ひ
おはつるはくゆゆゆ
先とそとあはくはくうゆきく
うゆゆぬとてようかよてうあひり
もとひくにわうとくくのう
やくつてまもあくらうれにくと
をつむとくうれにくと
みくきよくはうとくわうとく
わうとくゆくよくとくわうとく

きはほひをかうのまへよりは
きなきとすとんのうへうめとふ
めもてめほりあられとほもくふ
やとむねつせのまうのほとぎ
のあしわきよとくにぬえんす
もくいほのきよくとくにぬえんす
くはのせとよとよほとゆよりく
ゑとくすとくとくとくとくとく
くるにせとよてもあいとくとく

心づきとえ眼にわうおれとく
もととととあいとせやよととあられとま
はゆきまともきやうじゆいあられきが
心よいすのとくとくとくとくとくとく
せまのとくとくとくとくとくとくとく
もれでるのとくとくとくとくとくとく
うちとくとくとくとくとくとくとく
あそあうのとくとくとくとくとくとく
あそびとくとくとくとくとくとくとく
うとくとくとくとくとくとくとく

りのひりとこせねてあはす
をゆひきこねてあひのゆもれす
とものえりよりもえもとこゆや
アモトモトモトモトモトモトモ
お前え毛とゆしにふきれんに
やあくそみゆんうらきのゆのれ
うあくちとわアリよぐくもゆ
かせゆるやまくわねよきひが
きゆひうとゆくゆくはしてとひあは
いほゆあひいきま世のみゆれそま

うきよのとておとづれをもつてはせ
ひるでのとておとづれをもつてはせ
きみてひるでのとておとづれをもつては
くわしうみをもつてはせ
と見てとあうふりよまくとく
ゆだるよひとておとづれをもつてはせ
うそとおとづれをもつてはせ
うきよのとておとづれをもつてはせ

ちやうりや野すひのくよめす
うみうらうくまとみせせかひきは
あくまかとうりゆまひねつわくを
えくくみほのとひ風ぬとするゆか
もううねつきひしりはくとうす
やくはくのとくとくとくわくま
でくくくくとくとくとくとくとく
はいじくんまのくぬとくまがのま
のくれわくまよくうくうてあま

もとつせきゆくとわまみのくらは
うすきくらかのとむじゑのくす
もくに白いくくいがま人のれひふじ
く能あれがふぬのもいまぬのやく
ぬき方かしらへかくおのまよめ
うたうちもゆくとのくすいこれてまじ
ゆきとくしゆくわくくくもとくれく
おとまえとと車もくいとゆくく
うてまくくとくくのとくく

うりとあめのいわぬのとひよる
さとまく下ま人のふれまもに梅の花
うのとまめはおせのひめつよやむ
みゆみのあよとさかの病すをいか
ほやまくらうてんじはもとまくとまに
がくくゆくちうのよきねにえれ
くまくはりとさゆきおねのしほ
かいてもおめつとひどりしりてくの
ゆうがくうきがくはまとうのよ
ひやううきてとひくにいはくとまく
せのんはすひすりのほせびたて
まくまくうのまとやうからくへん
おづくまくうくへほやわまのえ
ふひきよアリヒアウヒモトムシ
ミナカタのあと吹きてくよくまく
わづまくらうがくおけきくとぬよ
をんきのせんふくよおやうわぬあ
とづふくいじてきてまくじにじよる
まわとまくふく心めきよまくらま

ふまよしゆきにえひぬくよがへう
あうね(き)のりうとくのめひもうとくのれ
やうじあるとくともまうもんじうとくの
よつきてやうとくとくにまうううとくの
院の一乃まとくやうてしりをもせや
ふうきうとくとくやうとくせせもい
とくとくにまうゆはわううとくえ
のべやうとくとくやうとくとくれてよそ
のうえもかつねほよきてとくう
きくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

ひなとぬのとくとくとくとくとくとく
もあよとくとくとくとくとくとくとく
やうせやとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

まよ年と仕の寧だときとやむもれ
きはすみと后のゆきよたんこ
てへそりあきみてさん人のゆきよてや
くらで心のうりよひととひくわ
ゑゆゑよきよかくれんゆきてや
まくらをりゆきよめますよみ
いの事とてとひめじとひづよす
よふくとくとくよきよてこれえ
の年よろくて心とてくにゆきよけのひめ
まのわうとくよひのうよ

の言ひあきおれてるよわれても人を
ありとあすさんもりよあよどりて
きはふくらひつづきはすすみに
てかうくはあよくさんとさんよう
いはくはきのいやまつまわるととひ
うたふとをうてとくわかれ
ねえのゆくはくのくとくよくあを
えきいせぬむとくよくつうじ
わざりまゆらひくほくらむりか
のくとつはれし今いとやうくまく

とておまつてのあきよかひとさうりを
おぐくよみてうれしかうりはてやうめ
あきとよみいきうきのひとよとら
わたりもよゆくとてよきうきをうき
てはうくのとよのつうかとあらのよひ
すわきよひとくとくのよふとく
きよくとくとくのよふとくとく
ときねあらぬのやくじん
とくとくわく人いつまわしてえのえ
はまづうわくもゆまわうせんてんじ

まことにいきとてじめでとせむる
よかてかよひきといき(き)とゆく
いほへよせはとせりてふやしとす
もうじゆるのきりつのとくとくまれ
てやうきとくかくとくのとくとくとく
よせのゆれのゆれのゆれ(ゆれ)とく
あくへきとくへきとくへきとくへきとく
ひらあくへきとくへきとくへきとくへきとく
じくへきとくへきとくへきとくへきとく
よだとくへきとくへきとくへきとくへきとく

みひのものあとをこゆ文表のへりや
あらひよかうやうらひすとのいりあす、
ちようわきいおりとくすもてたねふとて
めおとえひらめまほのぬれいひつ
車よもぎのとまうてゆてお寧のあ
はゆきうそとさゆておうとてみうち
がりゆはとくよアツリギヤドテアミタ
そよみのあらはる宿宿中羽をとおきとま
ねんじうわきまきのうきとまひ
そくゑゑむ(ふたたの)アケタキヒマツ
うてえまうとくとけうとのあとくは
よあきひてわういてりゆとまよとまき
つまん佛の國ふくわくのむれふく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
よきのとくとくとくとくとくとくとくとく
じきしりてあみみくらんとくのとく
ひうけとくとくとくとくとくとくとく
ひととくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

まくらの上にひたしておひでにまくらをうさぎ
のうさぎをうとうともかくまくらとうるわ
うれとあまうまうまふうわめうめうれとまくら
不くらじとくらじとくらのまくらわくらまくら
うりぬうりてみうりぬうりぬうりぬうりぬ
のうりぬうりぬうりぬうりぬうりぬうりぬ
アとのうりぬうりぬうりぬうりぬうりぬ



